

(5) 日 程

第一回会議	7月5日	研究会議設置の趣旨今後の研究方針、分担等
第二回会議	9月3日	研究事項の検討
第三回会議	10月2日	前回に同じ
第四回会議	11月15日	前回に同じ、資料検討
第五回会議	12月26日	集約および答申

会津	両沼	9月10日～11日	国語	坂下小
南会津		10月22日～23日	家庭	南郷総合センター
相双	相馬	10月18日～19日	社会	原二小・原一中
いわき		6月13日～14日	音楽	平二小

(5) おもな研修内容

- ① 講義
  - 教材研究の進め方
  - 学習指導法
- ② 演習・実技
  - 授業研究
  - 教教材研究
  - 実技研修

## 2. 各種研究指定校（地区）の委嘱

本県児童・生徒の学力向上と豊かな人間形成に資するため、本年度も教育課程研究指定校（10校、うち特殊教育1校、文部省単独指定1校）地域教育推進地区（2地区）を指定し、その研究内容を深めることに努力した。

(1) 教育課程研究指定校

① 目的

本県児童・生徒の学力向上を図るために、小学校・中学校の教育内容・方法について研究し、その成果を県下各学校に普及し、活用させる。

② 運営

ア、過去における学習指導研究指定校の研究成果をじゅうぶんにとり入れ、効率的な運営につとめる。

イ、学校経営全般にわたって診断を行い、問題点のは握りと改善につとめ、学力向上の成果をあげる。

ウ、研究計画の立案に当っては、学校の実情、児童・生徒の実態をよくは握し、具体的な研究主題を設定する。

エ、年度末に研究報告書を作成する。発表会を行った学校は、研究集録をもってこれにかえる。

③ 研究指定校一覧

## 第4節 学力向上対策

### 〔義務教育課〕

学力の向上を重点目標として、教育諸条件の整備につとめるとともに、研究学校の指定等による学習指導の改善・充実に努力した。

その内容は次のとおりである。

#### I. 教材研究協議会

(1) 目的

現代科学の発達による社会情勢の変化に伴い、教育面においても、内容・方法・その他について、新しい社会の要請にこたけるよう学習指導の改善が叫ばれている。

このような情勢下にあって、本県児童・生徒の学力向上を図るために、教科の本質に応じた教材研究のあり方について、講義・授業研究・研究発表・演習等をもとに研究協議し、学習指導の改善・充実を図ろうとするものである。

(2) 主催 福島県教育委員会

(3) 期間 2日間

(4) 期日・会場

管内	地区	期日	教材	会場
県北	安達	6月13日～14日	国語	岳下小
県中	石川	9月10日～11日	社会	石川小・石川中
県南	東白	9月12日～13日	図画工作	塙小

管内	学 校 名	校長名	研 究 主 題
県 北	東和町立針道小学校	福地俊男	自主的な生活態度を伸ばす特別活動の計画と指導 (特別活動)
	桑折町立醸芳中学校	黒羽健三	自主的、自発的な学習態度の養成 (教育課程一般)
	福島市立福島第四小学校	大和田 弘	言語障害教育における巡回指導のあり方 (特殊教育)
県 中	須賀川市立大東小学校	橋本富吉	読解力を育てるための学習指導法 (国語科)
	郡山市立郡山第二中学校	星久好	能力・適性等に応じる教育をすすめるための指導計画の作成や指導方法の工夫 (教育課程一般)
県 南	白河市立白河第一小学校	深谷 健	数学的な考え方を養うために指導内容の統合と教材の精選をどのようにすすめたらよいか (算数科)
会 津	会津坂下町立坂下小学校	半沢鐘吉	学習の過程・結果を児童のうちに実らせるための「つばを得た授業」 (理科・音楽科)
南会津	只見町立只見中学校	横山義秋	能力・適性等に応じたカリキュラムの作成とその指導法 (教育課程一般)
相 双	富岡町立富岡第一中学校	小笠原 弘	教科の本質にせまる学習指導法 (社会科・理科・英語科)
い わ き	いわき市立四倉小学校	佐藤利義	地理的学習における指導内容の統合的なは握と効果的な指導法の研究 (社会科)